各委員からの意見・質問一覧表

番号	資料	ページ	一連番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
1	資料1	P20	142	文化スポーツ課	高砂市文化振興審議会	R3年はアンケート調査を実施しているのにR2年より安い決算になっているのはなぜなのでしょうか？	資料の誤りがございました。令和3年度決算1,324,559円に修正いたします。
2	資料1 資料2	P25 P29	185 182	シティプロモーション室（観光交流ビューロー）	夫婦和合・結びのまち推進事業	新たな婚活、カップル対象のイベントの構築とありますが、どのようなことを行われましたか？ また、行おうとしていますか？私も高砂・東播磨で企画しているので興味があります。	新型コロナウイルス感染症の影響により開催していませんが、それ以前は商工会議所青年部が主催するキャンドルカフェに協力しています。 結びのまちのPRを目的に、高砂市に残る、結びに関する伝承を集めた動画の作成を進めていきます。
3	資料2	P9	53	文化スポーツ課	交流生招聘に関する支援	廃止に至った経緯をお教えください。（反対という意味ではありません）	英語が教科として小学校5年生からの必須科目となったことを受け、これまでは小学生が「英語を楽しむ」ことを目的に交流生を招聘していましたが、教育方針の変化により廃止することとなりました。
4	資料2	P14	86	文化スポーツ課	謡曲「高砂」普及の会	廃止ということですが、謡曲「高砂」普及委員会の構成メンバーはどのような方たちだったのでしょうか？	高砂商工会議所が主体となり、文化スポーツ課と共同で会議を開催し、情報交換を行っておりました。
5	資料2	P25	155 156	生涯学習課	指定文化財の保護 高砂市文化財保存活用地域計画	155と156の違いをお教えください。同じような内容を書かれていても、どちらかというと155は保護・整備に156は活用に力点が置かれているように私は理解しましたが、予算が別になっているので別物なのでしょうか？	155の事業は、高砂市内の指定文化財等を保存・活用するために、文化財の調査・普及・公開・整備等を、経常的に取り組んできているものです。 156の事業は、高砂市内のあらゆる文化財を保存・活用していくために、基本的な方針や具体的な保護措置等を定める、文化財保存活用地域計画を作成するものです。令和4～6年度の3ヶ年度で作成していく、新規事業です。 文化財保存活用地域計画は、文化財保護法にもとづく法定計画に位置づけるもので、令和6年度に国へ認定申請を予定しており、認定後は、この計画にもとづいて、体系的かつ総合的に、文化財に関する事業を推進していきます。

番号	資料	ページ	一連番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
6	アンケート、資料2	アンケートP12 資料2P2	1-1-1	文化スポーツ課、中央公民館		高砂市が文化的なまちと感じるかと性別のクロス表におけるコンサルタントの説明では、女性の方が文化的であると考えているように見えると、回答しているが、高砂市の人口における男女差は女性の方が3000人多いのであるから12.5%、16.1%と差があるように数字ででるのは、あたり前である。ピアソンのカイ2乗検定を行った所、有意な差は見られなかったとある。これは、当たり前である。男女差が分かれば、説明はきちっと出来るはずである。この表によると女性は、どちらともいえない、あまり感じない、感じないの度数が166であり、感じる、どちらかといえば感じるの度数51であり、女性はちっとも文化的なまちと感じていない節がある。しかるに、令和4年度事業計画におけるP2④1-1-1中央公民館における市民教養講座では、文化関係の回数未定とは、あまりにもアンケートの結果をふまえて、事業計画を行う市としての対応が、なっていないのではないかと思われるが、担当者のお考えをお聞きしたい。	今回行った市民アンケートの回答者における男女比は、男性が41.5%女性が56.2%で、女性の回答数が上回っています。 ご指摘の箇所の分析については、13ページ上段に「性別により、高砂市が文化的なまちと感じるかの回答には、有意差はみられなかった」が結果でございます。 市民教養講座については、主催である公民館が講座、講師の選定を行うにあたり、あまりに先の日程では調整できない旨が諸講師から申出があり、新年度以降に順次調整することから、分野に関わらず「未定」としているものです。 市民ニーズが高く、社会的課題に添う内容のものを中心にメニューを編成しており、それ自体は市の施策方針に適合していることから、文化に関する講座の実施についても継続して依頼していきたいと考えております。
7	素案			文化スポーツ課		わかりやすく次のステップに変えていっているように思いました。 本方針の理念『つむぎ　つながり　文化と育つまち　高砂』については少しひっかかります。内容的には、五七五のようにそぎ落とした文にしているように思いますが、何と『つむぎ』何とつながるのか『文化と育つまち』では、『文化が育てば、まちが育つ』という意味かと思いますが、文章的にどうなのか、よくわかりませんでした。今のところ、少しひっかかるとしか言えないのですが、当日までに何か提案出来たらと思います。	方針理念については、年齢を問わず分かりやすく、親しみやすい、かつ高砂市らしいものをと発案しております。 「つむぐ」は松右衛門帆布に掛けております。幼児期から郷土文化に触れ、成長にしたがい、個人の感性によっていろんな形の郷土愛を「つむぎ」、醸成された文化意識が同志を「つむぐ」ことが文化の伝承、強靭化の要になり得ます。これらは方針の方向性の主軸としているところです。 「つながる」は「縁結びのまち」に掛けております。文化の発展、伝承のためには、個人や団体個体のみではなく、それら同士や事業者、行政との連携により活性化が期待できます。 「育つ」はまちづくりも表現していますが、人と文化が共生するという意も含めております。 本審議会におけるご意見を参考にしながら、本案件については今後も引き続き検討してまいります。
8	素案			文化スポーツ課		謡曲「高砂」はいろんな切口により、高砂にとってのブランドだと思っています。施策で触れる機会の充実や普及また継承と出ていますが、その中身の『和合長寿』や「ブライダル」からの『縁結び』などのキーワードが重要になると思います。第１次基本方針で～謡曲「高砂」をシンボルとして～と基本に置いていたのはそういう理由からです。その点は第２次基本方針になっても残していって欲しいところです。	第2次方針においても、引き続き謡曲「高砂」を文化の象徴として継承してまいります。 謡曲そのものを伝えることはもとより、謡曲高砂に包含するキーワードを施策に反映することを予定しております。

番号	資料	ページ	一連番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
9	素案	P7		文化スポーツ課		海外との交流事業として、高砂市国際交流協会との連帯により、交流バーベキューやバス旅行の開催により、交流の機会をサロンや講演会においては、異文化について学ぶ機会を設けましたとあるが、お隣の加古川市では創意工夫に富んだ国際交流の取り組みを表彰する第16回総務大臣賞を今回受けられた青年の派遣や受け入れ、ブラジルや中国などとのきめ細かい連帯が高評価を受けたそうであるが、素案における高砂市はたった2行7字の簡単な説明だけである。こんなもので文化を創造する魅力づくりといえるのか。お伺いする。	7ページは、現行方針の基本目標3「文化を創造する魅力づくり」の実績を記載しています。魅力づくりに寄与した事業の一部を例挙しており、本市の国際交流事業もその一部であると考え取り上げたものです。 国際交流事業は他にも講演会や交流生の派遣や受け入れ、県事業の受託、語学教室の活性化、料理教室など様々ございますが、紙面の都合もございますので、一部を実績として記述しております。 第2次方針においても、引き続き重点事業として位置付ける予定としており、いただいた意見は次期方針に反映してまいります。
10	素案	P10		文化スポーツ課		高砂市文化振興条例の認知状況が、条例制定10年目を迎えても、市民の8割が「全く知らない」としており、文化を活かしての活性化、人材の育成、組織的な対応の順で重要性が指摘されるが、市としての今後の進め方の方針を聞かせてほしい。	今回のアンケートをはじめ、前回のアンケート結果や各イベントの来場者アンケートにおいて、「情報が入ってこない」との意見を多くいただいているところです。 情報発信は喫緊の課題であるととらえ、次期方針の基本目標4において改善に重点的に取り組んでまいる予定です。 また文化によるまちの活性化、人材育成、環境づくりについては次期方針の基本目標2において個人や団体が活躍する機会の創出をめざしてまいります。
11	その他			文化スポーツ課		令和4年度計画書P25の160、3-4-1、文化会館の施設整備に関して、1億780万円の予算があがっているが、文化会館の建替案の話とかの関係はどこにいてしまっているのか、くわしくお聞きしたい。	文化会館の建替については、公共施設全体最適化計画に基づき、令和5年度までに手法と文化保健センターとの統合について計画し、令和１８年度までに行う予定です。 ご指摘の施設整備にかかる予算は、文化会館舞台照明の調光器盤の更新に要するもので、施設の適切かつ安全な維持運営のために必要な予算として計上しております。
12	その他			文化スポーツ課		第2次高砂市文化振興基本方針（素案）P50（回答者の属性）〇高砂市で自慢したい文化や人物、もので～謡曲「高砂」をシンボルとして～と基本に置いていたにも関わらず、謡曲「高砂」が上位を占めないのは、委員をしてきた者としては残念に思います。おめでたい謡(うたい)として結婚式に欠かせない謡曲「高砂」から、私は日本一めでたいまちに住んでいると思っています。それは切口を変えて「ブライダル都市高砂」になり、「縁結びのまち高砂」であると思っています。唯一無二の「たかさご」というブランドを広めていけなかったことが残念です。ただ、この度の改定で基本目標4つに動き（実践していこう）を感じ、楽しみです。 同P52下から5行目に「情報源がほとんどスマートフォンであることに対応することが必要」といった意見とあります。私は初めから、例えば高砂町の町の案内板や標柱にQRコードを入れてもっと詳しい情報に飛ぶようにしたらどうかとこの審議会で何度も提案してきましたが、未だに動いて頂けていません。これからの動きに期待します。	第2次高砂市文化振興基本方針の基本目標に掲げ、実践していくことにより、高砂の文化の象徴である謡曲「高砂」を「ブランド」という視点からも広めていくことを積極的に検討します。 PR手法については、市民が情報を積極的に収集しやすくなるよう、SNSの活用をはじめ、他部局とも協議を進めてまいります。

番号	資料	ページ	一連番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
13	その他			－		今回は文化振興審議会の資料を読んで特にありません。 別紙添付資料のような「高砂町活性化の取組と課題・展望」（兵庫大学講義）を具体的に進めています。	－
14	アンケート			文化スポーツ課		アンケート調査、文化会館についての内容でキャパ数については調査が行われたが、目的に合ったホールという観点からの訊ね方をして頂きたかったです。大ホールで有名人を招いてのコンサートやイベントは姫路や神戸、大阪に出れば用は足り、多目的ホールが市に一つは必要でしょう。 しかし、市民が利用しやすいコンサートホール（中・小）というものも必要。税金の無駄遣いにならないよう、よくよく吟味されて臨んで頂きたいと思います。	今回のアンケートでは、無作為に抽出した高砂市民を対象とした調査を行い、キャパ数についての設問を設けました。実際に文化施設建替えを行う際には、目的に合ったホールという観点からも利用者へのアンケート調査等により、市民のニーズに合わせた施設の建設に向けて慎重に検討いたします。
15	素案			文化スポーツ課		どうして「高砂市を文化的なまちと考える人が少ない」のでしょう。「こうあるべき」の言葉はたくさん述べられ、市民・団体等の自主性、創造性、多様性についても述べられていますが、市民に浸透していないのはなぜでしょう。 しっかりと取り組まなければならないのに、どうしてコロコロ人事が変わるのでしょう。市民は見抜いています。本腰を入れて取り組まなければならないものをその経緯すらわからない状態にしてしまうのです。いくら立派な方針、冊子をつくっても、市民を引っぱっていく強力な姿勢や情熱が感じられないのは私だけでしょうか！ 市の将来を見据えて、しっかりふんばってくださるチームが必要だと思います。 市役所職員の為の人事ですか？市民の為の人事でしょうか？	本アンケートは、条例制定以降現在までの市民意識を調査しております。 ご指摘の人事異動は令和3年度以降のものかと推察いたしますが、10余年の施策の結果、文化施策が十分に浸透していないものと受け止めております。 市の人事異動においては、職員はいかなる職場においても真摯にその事務に取り組むことを前提とし、我々職員もその思いのもと職務にあたっております。 本年7月から「文化芸術・国際交流担当主幹」が再配置され、市における「文化」への意識レベルが低下しているものではないものと考えております。 いただいたご意見を真摯に受けとめ、引き続き施策を推進してまいります。

番号	資料	ページ	一連番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
16	その他			文化スポーツ課		謡曲「高砂」を市民に浸透させ、対外的にもアピールするのは良いのですが、「能」というものを、もっと深く味わせて伝統芸能の素晴らしさ、大切さ、おもしろさを伝え、人を育てる方向で取り組んでもらいたい。文化は様々なことが結びつき、その範囲は広く、どれを取っても大切ですが、グローバルな意味での日本文化としてとらえないと子供や人々は一地域のみで生活しているわけではなく、限られた狭さを感じてしまいます。「観月能」開催も現実は大変であることを耳にします。様々な取り組みの中でも特に「高砂」をアピールするのであるなら、全国的に関心を持たれる強力な「文化づくり」「人づくり」をお願いしたいです。他市では市内で育った優秀な人材をおおいに活用していますが、高砂では特別に扱う「ひいき」という目を恐れ、無難なところでの動きになっているように思われます。→新たな変化→発展と市民は感じにくいと思います。	現在「高砂狂言こどもワークショップ」において、本物の狂言に触れる機会を設けております。 また人材や地域文化資材の活性化についてもその重要性を鑑み、次期方針の基本目標2に掲げております。 能や狂言の導入には予算も関係してまいりますので、可能な範囲での取り組みを検討してまいります。
17	素案	P4 P11 P12 P13 P29		文化スポーツ課		「時間がない」「興味がない」などと回答される人達に響く情報発信は、よほど工夫しないと難しいと思う。 スマホ利用者に使ってもらいやすく情報発信する為にアプリ「たかさごナビ」があるのであれば、ほぼ何も記載されていないイベントカレンダーをもっと有効活用するとか、何回かリンク先で移動しないと見れない市政便りを、トップページにすぐ見れるリンクボタンを作るなどして、上記理由の人や「十分な情報がない」と回答された人達などに対応するべきだと思います。 「使いにくい」「更新されない」アプリは、スマホ内の沢山のアプリに埋もれるか削除されてしまいますよ。	ご指摘のとおり、興味が薄い方へのアプローチについて改善の余地があると考えております。 スマホ利用をメインとする世代への情報発信手段につきましては、広報担当部署と調整を図りながら改善してまいります。 他方でスマホに馴染みのない方も一定数あることから、発信手段について十分に検討してまいります。
18	その他			文化スポーツ課		アンケート回答数の増加を考えないといけないのでは…。 アンケートの報告書にも記載されていたが、設問の多さは私も低迷の理由の1つだと思います。 増やすのであれば、なんらかのインセンティブを考えるなどするべきではと思いました。 選択性とはいえ文字に圧倒されるなと、私もアンケートを見て感じました。	ご指摘のとおり、設問数が多かったことが回答数に一定の影響を及ぼした可能性も考えられます。 今後のアンケートにおいては、見やすく答えやすいものを作成するよう改善を図ってまいります。